

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース			
科目名	動物病理学					必修・選択必修の別			必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	30	時間
	2年	前期	15	時間	後期	15	時間			
	3年	前期	-	時間	後期		時間			
担当講師	小山 佳容子									
	実務経験	有	大井競馬場1年半、動物病院10年間で病気の発生についての知識を身につけ、病気を理解するのに役立てることに生かしている。							
授業概要	傷病動物を看護するには、発病のメカニズムと病理学的特徴を理解するため、生理機能の障害からの病気の発生、変化、回復を学ぶ。更に、病変の特徴や分類、名称、検査方法などの病理学専門用語や正常と異常の違い、動物種による違いなどを理解し、動物看護に活かす。							授業形式	講義	
到達目標	発病のメカニズムと病理学的特徴を理解し、獣医臨床の現場で傷病動物看護に活かす。									
教科書・教材・服装等	授業内配布プリント									
授業計画時間数	授業内容									
1	病理学の方法論、病理検査技術									
2	凍結標本作成、病理解剖									
3	生体恒常性維持機構、内因									
4	内因、内分泌障害、免疫状態									
5	外因									
6	変性									
7	代謝異常（タンパク質、糖質、脂肪、類脂質）									
8	代謝異常（尿酸、色素、無機質）									
9	萎縮									
10	壊死とアポトーシス									
11	細胞増殖のメカニズム									
12	細胞障害に対する細胞の適応									
13	創傷の分類と病的損傷									
14	組織、細胞の修復と再生									
15	前期試験									
16	血液の循環障害（血液分布異常、凝固、溶解）									
17	止血機構、血管閉塞病変									
18	組織液の循環障害、ショック									
19	炎症の定義、原因									
20	炎症の形態的变化									
21	炎症の分類、急性炎症と慢性炎症									
22	免疫反応の基本									
23	免疫異常による疾患、移植における免疫反応									
24	腫瘍の定義、形態学的特徴									
25	腫瘍の分類と命名									
26	腫瘍の増殖、宿主の影響、腫瘍免疫									
27	腫瘍の原因、発生のメカニズム									
28	腫瘍の種類									

29	先天異常の原因の原因、胎児の発生段階と環境要因、奇形の成り立ちと分類			
30	後期試験			
評価	・ 出席率	定期試験		筆記試験
	・ 小テスト			実技試験
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	A評価	出席率100％・小テスト80％・平常点 優れている		
	B評価	出席率99～90％以上・小テスト70％・平常点 普通		
	C評価	出席率89～80％以上・小テスト60～70％・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		